

1. 令和8/9年度理事長候補者及び関東支部長候補者選出の件

標記の件につき、令和7年11月14日に令和8/9年度役員候補者会が開催され、以下の通り選出されましたので、ご報告申し上げます。令和8年4月16日の定時社員総会(札幌)にてご承認をお願いする予定です。

令和8/9年度 理事長候補者

小田義直
(九州大学大学院医学研究院形態機能病理学)

令和8/9年度 関東支部長候補者

長尾俊孝
(東京医科大学人体病理学分野)

令和8/9年度役員(理事・監事)候補者一覧はこちら(PDF)
<https://www.pathology.or.jp/news/7cec71ce0545e240ab23220ce4d5a51de5a8d51d.pdf>

2. 会員システム一時利用停止のお知らせ

2026年1月より会員システムが刷新されることになりました。新システム移行に伴い、下記の期間、会員システムの利用を停止いたします。ご利用を予定されている皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。停止期間中の会員情報やその他のお問い合わせは、メールにてご連絡ください。

e-mail: jsp.office@pathology.or.jp

利用停止期間:

2025年12月22日(月)～2026年1月6日(火)

利用停止内容:

会員システム

(新システム移行により見栄えがかなり変わります)

病理情報ネットワークセンター

<https://e-learning.pathology.or.jp/>

希少がんサイト(e-learningを含む)

<https://rarecancer.pathology.or.jp/>

Pathology International閲覧

<https://pathology.or.jp/kankoubutu/jour-pin.html>

利用一時停止に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本病理学会事務局

TEL: 03-6206-9070 e-mail: jsp.office@pathology.or.jp

3. 令和6年度事業報告ならびに収支決算について

令和7年11月13日開催の令和7年度秋期特別社員総会(第71回秋期特別総会・名古屋)において、標記の件が以下の通り承認されました。

(1) 令和6年度事業報告

(令和6年4月1日～令和6年3月31日)

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催

(1) 第113回日本病理学会総会

(於名古屋・豊國伸哉会長)

(2) 第70回日本病理学会秋期特別総会

(於東京・大橋健一会長)

2. 研究会、講習会等の開催

(1) 第20回日本病理学会カンファレンス(於山形)

(2) 細胞診講習会・病理診断講習会・剖検講習会・先端的分子病理学講習会・分子病理専門医講習会・分子病理専門医更新講習会・分子病理診断講習会: 分子病理を学びたい人のために

(3) 第13回ゲノム病理標準化講習会

(4) 第18回診断病理サマーフェスト

(5) 胃癌病理診断・バイオマーカー検査アップデート講習会(企業教育助成プログラム)

(6) 各支部における学術・研究集会、「夏の学校」等
3. 市民公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」の発行(第113巻第1～2号)

2. 「Pathology International」の発行(Vol. 74 4～12, Vol. 75 1～3)

3. 「診断病理」の発行(第41巻第2～4号, 第42巻第1号)

4. 「日本病理学会会報」の発行(第432～443号)

5. 「お知らせ」(第46号～47号)の発行

6. 「病理専門医部会報」の発行(令和6年4月号, 7月号, 10月号, 令和7年1月号)

III. 研究および調査並びに知識の普及

1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第65輯(令和4年度症例収載)

2. 剖検報データベースの運用

3. 病理学卒前教育の充実

4. 公式Webサイト、SNS等の充実

5. 小中高生・医学生・市民向け広報企画の実施
 6. JP-AID デジタル病理画像データベースの運用
 7. 産学連携がんゲノムスクリーニングプロジェクト
SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN-2への協力
 8. 政府等委託・研究事業等の実施
- (1) 令和6年度厚生労働省補助金事業「希少がん診断のための病理医育成事業」
- IV. 研究の奨励および研究業績の表彰**
1. 日本病理学賞（宿題報告）の授与
 2. 病理診断学賞（病理診断特別講演）の授与
 3. 学術研究賞（A 演説）の授与
 4. 症例研究賞（B 演説）の授与
 5. 学術奨励賞の授与
 6. 100周年記念病理学研究新人賞の授与
- V. 病理専門医等の資格認定及び病理診断関連活動**
1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
 2. 病理専門医の広報
 3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新
 4. 病理専門研修プログラムの運用指導
- (2) 令和6年度決算報告書
- 1) 貸借対照表

2025年3月31日現在
(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	200,658,026	188,258,257	12,399,769
現金	606,916	1,179,224	△ 572,308
普通預金	127,605,832	128,526,120	△ 920,288
郵便振替	26,165,886	12,370,000	13,795,886
支部現金預金	46,279,392	46,182,913	96,479
未収金	11,051,700	15,578,000	△ 4,526,300
前払金	5,778,503	5,778,503	0
前払費用	7,531,425	2,429,097	5,102,328
仮払金	8,795,986	66,162	8,729,824
流動資産合計	233,815,640	212,110,019	21,705,621
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
学術医療振興基金引当預金	98,482,962	98,437,533	45,429
国際交流基金引当預金	20,164,550	20,155,982	8,568
100周年記念事業引当資産	1,044,605	1,345,440	△ 300,835
特定資産合計	119,692,117	119,938,955	△ 246,838
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1,944,585	2,104,298	△ 159,713
器具工具備品	2,940,249	3,098,486	△ 158,237
ソフトウエア	956,175	0	956,175
保証金	5,000,000	5,000,000	0
長期貸付金	0	0	0
その他固定資産合計	10,841,009	10,202,784	638,225
固定資産合計	160,533,126	160,141,739	391,387
資産合計	394,348,766	372,251,758	22,097,008

II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,703,549	1,802,319	△ 98,770
前受金	3,261,000	4,244,000	△ 983,000
預り金	647,196	1,037,744	△ 390,548
仮受金	302,000	355,000	△ 53,000
未払法人税等	489,700	2,783,600	△ 2,293,900
未払消費税等	1,983,400	4,187,300	△ 2,203,900
流動負債合計	8,386,845	14,409,963	△ 6,023,118
2. 固定負債			
退職給付引当金	23,485,140	20,636,100	2,849,040
固定負債合計	23,485,140	20,636,100	2,849,040
負債合計	31,871,985	35,046,063	△ 3,174,078
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0) .	(0) .	(0) .
(うち特定資産への充当額)	(0) .	(0) .	(0) .
2. 一般正味財産			
362,476,781	337,205,695	25,271,086	
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0) .
(うち特定資産への充当額)	(119,692,117)	(119,938,955)	(246,838)
正味財産合計	362,476,781	337,205,695	25,271,086
負債及び正味財産合計	394,348,766	372,251,758	22,097,008

2) 正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで
(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	65,760	1,193	64,567
特定資産受取利息	65,760	1,193	64,567
受取会費	75,268,487	73,203,472	2,065,015
学術評議員会費	15,795,000	15,418,000	377,000
一般会員年会費	37,335,487	36,557,472	778,015
賛助会員受取会費	100,000	100,000	0
終身会員費	3,900,000	3,500,000	400,000
病理専門部会費	18,138,000	17,628,000	510,000
海外会員年会費	0	0	0
事業収益	239,845,089	210,669,174	29,175,915
学術集会収益	143,710,740	123,370,510	20,340,230
広告料収益	200,000	0	200,000
輯報刊行物収益	8,707,720	8,752,000	△ 44,280
専門医制度収益	55,290,000	51,718,000	3,572,000
病理専門医部会収益	2,941,310	3,425,300	△ 483,990
講習会等収益	15,230,000	10,999,000	4,231,000
支部集会等収益	5,273,992	4,636,149	637,843
賠償保険事務収益	3,718,327	3,498,215	220,112
ゲノム講習会収益	4,773,000	4,270,000	503,000
受取委託収益	5,855,000	355,000	5,500,000
受取委託収益	5,855,000	355,000	5,500,000
受取補助金等	37,631,760	36,819,010	812,750
受取寄付金	5,524,434	8,397,804	△ 2,873,370
受取寄付金	5,524,434	8,397,804	△ 2,873,370

雑収益	53,016,573	53,764,023	△ 747,450
受取利息	118,708	2,174	116,534
雑収益	1,187,783	1,630,469	△ 442,686
著作権協会分配金	171,973	214,746	△ 42,773
PI ロイヤリティ	8,208,391	8,650,428	△ 442,037
著作権使用料	71,560	134,920	△ 63,360
編集協力費収入	3,105,258	5,113,786	△ 2,008,528
日病会誌	565,000	1,061,000	△ 496,000
転載料	10,230,000	11,566,500	△ 1,336,500
DBWSI 使用料	26,981,900	25,390,000	1,591,900
不動産使用収益	2,376,000	0	2,376,000
経常収益計	417,207,103	383,209,676	33,997,427
(2) 経常費用			0
事業費	310,784,664	270,941,435	39,843,229
給与手当	0	0	0
臨時雇賃金	187,341	530,971	△ 343,630
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	10,846,806	7,540,050	3,306,756
旅費交通費	9,134,667	7,981,578	1,153,089
通信運搬費	8,452,486	8,140,528	311,958
消耗什器備品費	304,972	0	304,972
消耗品費	3,052,884	2,952,993	99,891
修繕費	0	0	0
印刷製本費	40,362,170	35,601,990	4,760,180
光熱水料費	0	0	0
賃借料	4,057,039	4,675,315	△ 618,276
諸謝金	15,229,348	11,852,214	3,377,134
租税公課	19,300	8,150	11,150
支払負担金	2,123,300	2,116,200	7,100
支払助成金	3,281,958	2,946,124	335,834
支払寄付金	0	0	0
委託費	47,064,842	54,816,768	△ 7,751,926
雑費	4,440,326	2,190,436	2,249,890
支払手数料	3,979,659	3,525,823	453,836
新聞図書費	114,970	15,950	99,020
学術集会会場費	26,570,537	8,379,692	18,190,845
学術集会設営費	53,315,993	55,881,050	△ 2,565,057
学術集会人件費	22,772,413	16,433,700	6,338,713
学術集会業務委託費	10,943,167	11,654,182	△ 711,015
学術集会広告費	5,783,910	1,264,616	4,519,294
学術集会印刷費	367,040	320,887	46,153
学術集会会議費	13,375,188	9,796,491	3,578,697
学術集会諸費用	19,848,098	20,443,802	△ 595,704
学術集会 WEB 費用	5,156,250	1,871,925	3,284,325
管理費	81,151,353	76,313,498	4,837,855
給与手当	42,812,362	39,016,797	3,795,565
臨時雇賃金	414,000	360,000	54,000
退職給付費用	2,849,040	2,150,040	699,000
福利厚生費	42,774	43,495	△ 721
会議費	0	0	0
旅費交通費	931,639	921,980	9,659
通信運搬費	95,208	324,548	△ 229,340
消耗品費	13,734	179,331	△ 165,597
法定福利費	7,297,976	5,957,651	1,340,325
修繕費	0	0	0
印刷製本費	80,700	817,470	△ 736,770
光熱水料費	661,481	618,962	42,519
賃借料	9,872,896	9,945,056	△ 72,160

保険料	61,320	0	61,320
諸謝金	550,630	565,205	△ 14,575
租税公課	7,579,419	9,472,127	△ 1,892,708
支払負担金	0	0	0
支払助成金	332,000	900,000	△ 568,000
委託費	2,541,094	751,313	1,789,781
雑費	593,604	399,617	193,987
減価償却費	3,616,584	3,578,188	38,396
支払手数料	740,572	311,718	428,854
雑損失	64,320	0	64,320
経常費用計	391,936,017	347,254,933	44,681,084
評価損益等調整前当期経常増減額	25,271,086	35,954,743	△ 10,683,657
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	25,271,086	35,954,743	△ 10,683,657
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産売却損	0	600,302	△ 600,302
経常外費用計	0	600,302	△ 600,302
当期経常外増減額	0	△ 600,302	600,302
一般事業振替	16,097,545	7,869,895	8,227,650
支部会計振替	△ 7,751,000	△ 7,653,000	△ 98,000
委託事業振替	1,751,856	810,898	940,958
収益事業振替	△ 10,098,401	△ 1,027,793	△ 9,070,608
税引前当期一般正味財産増減額	25,271,086	35,354,441	△ 10,083,355
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	25,271,086	35,354,441	△ 10,083,355
一般正味財産期首残高	337,205,695	301,851,254	35,354,441
一般正味財産期末残高	362,476,781	337,205,695	25,271,086
II. 指定正味財産増減の部			0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	362,476,781	337,205,695	25,271,086

3) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 建物付属設備
定額法によっている。
- ② 器具工具備品
定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職金給付引当金・・・従業員の退職給付に備えるため、当期末における要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,437,533	45,979	550	98,482,962
国際交流基金引当預金	20,155,982	9,228	660	20,164,550
100周年記念事業引当預金	1,345,440	485	301,320	1,044,605
合 計	149,938,955	55,692	302,530	149,692,117

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	30,000,000	0
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,482,962	0	98,482,962	0
国際交流基金引当預金	20,164,550	0	20,164,550	0
100周年記念事業引当預金	1,044,605	0	1,044,605	0
合 計	149,692,117	0	149,692,117	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,383,795	439,210	1,944,585
器具工具備品	35,532,081	32,591,832	2,940,249
合 計	37,915,876	33,031,042	4,884,834

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
希少がん病理診断支援補助金	厚生労働省	0	35,397,000	0	35,397,000	一般正味財産
第70回秋期総会での補助金	国際病理アカデミー日本支部	0	325,000	0	325,000	一般正味財産
各支部での補助金	その他民間団体等	0	1,442,000	0	1,442,000	一般正味財産
助成金	WILLY	0	467,760	0	467,760	一般正味財産

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記 2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	20,636,100	2,849,040	0	0	23,485,140

4) 財産目録

2025年3月31日現在 (単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金 現金 普通預金	手元保管 みずほ銀行本郷支店 みずほ銀行本郷支店 みずほ銀行本郷支店 みずほ銀行本郷支店 みずほ銀行本郷支店 みずほ銀行本郷支店 みずほ銀行本郷支店 みずほ銀行本郷支店 三菱 UFJ 銀行本郷支店	運転資金として 運転資金として（一般用） 運転資金として（専門医用） 運転資金として（専門医部会用） 運転資金として（剖検用） 運転資金として（保険用） 運転資金として（研究費用） 運転資金として（口腔病理用） 運転資金として（退職引当用） 運転資金として（基本財産運用用）	606,916 127,605,832 37,216,252 13,531,253 3,254,571 4,762,152 23,016,673 21,216,158 926,612 23,493,241 188,920 26,165,886 26,165,886 46,279,392 46,279,392 11,051,700 8,664,700 2,387,000 5,778,503 778,503 5,000,000 0 0 0 7,531,425 406,425 7,125,000 8,795,986
	振替口座	ゆうちょ銀行	運転資金として	
	支部現金預金	各支部現金預金	運転資金として	
	未収金	データベース利用料 転載許諾等		
	前払金	(株) ブルボックス 4月分事務所家賃 第 114 回春期総会準備金 第 66 回秋期総会準備金 第 17 回日本病理学会カンファレンス ゲノム講習会用書籍		
	前払費用	ICCR membership subscription WILEY 2025 年 4月-12 月 (株) 春恒社新会員システム構築		
	仮払金			
流動資産合計				233,815,640
(固定資産)				
基本財産	普通預金	普通預金三菱 UFJ 銀行本郷支店		30,000,000
特定資産	学術医療振興基金引当預金	普通預金三菱 UFJ 銀行春日町支店		98,482,962
	国際交流基金引当預金	普通預金りそな銀行本郷支店		20,164,550
	100周年記念事業引当預金	普通預金みずほ銀行本郷支店		1,044,605
その他固定資産	建物付属設備 器具工具備品	パーティション工事等 サーバー等	希少がん用	1,944,585 2,940,249

ソフトウエア	専門医更新申請システム等		956,175
保証金	神田 IN ビル		5,000,000
長期貸付金	日本専門医機構		
固定資産合計			160,533,126
資産合計			394,348,766
(流動負債)			
未払金	後納郵便 3 月分 アデコ（株） 日本通運（株）プライバシーカード 3 月分 富士ソフト（株）顕微鏡等保管料 その他		1,703,549 532,730 388,857 126,976 103,950 551,036 3,261,000 2,800,000 0 461,000 0 647,196 233,110 134,100 0 256,486 23,500 302,000 302,000 0 489,700 1,983,400
前受金	終身会費部会 分子病理専門医試験受験料 2025 年度年会費 専門医試験受験料他		
預り金	源泉所得税 住民税 社会保険料 謝金源泉所得税 年会費等		
仮受金	(公財)がんの子供を守る会他 野呂昌弘氏（専門医認定手数料） 法人税及び住民税、事業税 消費税確定納付分		
未払法人税等			
未払消費税等			
流動負債合計			8,386,845
(固定負債)			
退職給付引当金			23,485,140
流動負債合計			23,485,140
負債合計			31,871,985
正味財産			362,476,781

4. 令和 8 年度事業計画ならびに収支予算について

令和 7 年 11 月 13 日開催の令和 7 年度秋期特別社員総会（第 71 回秋期特別総会・名古屋）において、標記の件が以下の通り承認されました。

（1）令和 8 年度事業計画

（令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催

（1）第 115 回日本病理学会総会

（於札幌・田中伸哉会長）

（2）第 72 回日本病理学会秋期特別総会

（於福岡・小田義直会長）

2. 研究会、講習会等の開催

（1）第 22 回日本病理学会カンファレンス

（2）細胞診講習会・病理診断講習会・剖検講習会・先端的分子病理学講習会・分子病理専門医講

習会・分子病理専門医更新講習会・分子病理診断講習会：分子病理を学びたい人のために

- （3）第 15 回ゲノム病理標準化講習会
- （4）第 20 回診断病理サマーフェスト
- （5）胃癌病理診断アップデート講習会（企業教育助成プログラム）
- （6）各支部における学術・研究集会、「夏の学校」等

3. 市民公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

- 1. 「日本病理学会会誌」の発行（第 115 卷第 1～2 号）
- 2. 「Pathology International」の発行（Vol. 76 4～12, Vol. 77 1～3）
- 3. 「診断病理」の発行（第 43 卷第 2～4 号, 第 44 卷第 1 号）
- 4. 「日本病理学会会報」の発行（第 456～467 号）
- 5. 「お知らせ」（第 50 号～51 号）の発行

6. 「病理専門医部会報」の発行（令和8年4月号、7月号、10月号、令和9年1月号）
- III. 研究および調査並びに知識の普及
1. 「日本病理剖検報」の発行 第67輯（令和6年度症例収載）
 2. 剖検報データベースの運用
 3. 病理学卒前教育の充実
 4. 公式Webサイト、SNS等の充実
 5. 小中高生・医学生・市民向け広報企画の実施
 6. JP-AID デジタル病理画像データベースの運用
 7. 産学連携がんゲノムスクリーニングプロジェクト SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN-2への協力
 8. 政府等委託・研究事業の実施
- IV. 研究の奨励および研究業績の表彰
1. 日本病理学賞の授与
 2. 病理診断学賞の授与
 3. 学術研究賞の授与
 4. 症例研究賞の授与
 5. 学術奨励賞の授与
 6. 100周年記念病理学研究新人賞の授与
- V. 病理専門医等の資格認定及び病理診断関連活動
1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施
及び資格の更新
- VI. 病理専門医の広報
3. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新
 4. 病理専門研修プログラムの運用指導
 5. 分子病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
 6. 病理解剖研修の充実
 7. 生涯教育の充実
 8. 国立がん研究センターとの病理診断コンサルテーションシステムの運営
 9. 病理精度管理体制の充実
 10. 各種ガイドライン等の作成
 11. 医療における病理診断・病理解剖の推進
 12. 医療安全確保への貢献
- VII. 学術団体等との協力、連絡
1. 学術団体等との会議共催および後援（国内）の実施
 2. 腫瘍取扱い規約等の改訂・「領域横断的癌取扱い規約」の更新
 3. 海外病理学会との交流
- VIII. その他目的を達成するために必要な事業
1. 会員システムの充実
 2. 若手病理医・研究医の育成
 3. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施

(2) 令和8年度収支予算書

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	213,735	9,785	203,950
特定資産受取利息	213,735	9,785	203,950
受取会費	74,935,000	73,994,000	941,000
学術評議員会費	15,470,000	15,665,000	△ 195,000
一般会員年会費	37,817,000	36,699,000	1,118,000
賛助会員受取会費	100,000	100,000	0
終身会員費	3,500,000	3,500,000	0
病理専門部会費	18,048,000	18,030,000	18,000
事業収益	239,448,369	212,338,174	27,110,195
学術集会収益	143,710,740	126,150,510	17,560,230
広告料収益	0	0	0
輯報刊行物収益	9,240,000	8,557,000	683,000
専門医制度収益	55,290,000	51,718,000	3,572,000
病理専門医部会収益	2,941,310	2,509,300	432,010
講習会等収益	15,230,000	10,999,000	4,231,000
支部集会等収益	5,273,992	4,636,149	637,843
賠償保険事務収益	3,718,327	3,498,215	220,112
ゲノム講習会収益	4,044,000	4,270,000	△ 226,000
受取補助金等	43,142,000	41,937,010	1,204,990
受取寄付金	5,316,868	8,397,804	△ 3,080,936
受取寄付金	5,316,868	8,397,804	△ 3,080,936

雑収益	28,321,872	33,503,365	△ 5,181,493
受取利息	273,907	16,212	257,695
雑収益	1,439,783	1,469,433	△ 29,650
著作権協会分配金	171,973	214,746	△ 42,773
PI ロイヤリティ	8,208,391	8,187,928	20,463
著作権使用料	71,560	134,920	△ 63,360
編集協力費収入	3,105,258	3,947,876	△ 842,618
日病会誌	565,000	1,061,000	△ 496,000
転載料	8,910,000	5,783,250	3,126,750
DB WSI 使用料	3,200,000	10,312,000	△ 7,112,000
不動産使用収益	2,376,000	2,376,000	0
経常収益計	391,377,844	370,180,138	21,197,706
(2) 経常費用			
事業費	306,462,406	289,295,416	17,166,990
給与手当	0	0	0
臨時雇賃金	446,770	530,971	△ 84,201
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	10,474,896	7,820,050	2,654,846
旅費交通費	10,259,135	8,281,578	1,977,557
通信運搬費	8,093,305	8,140,528	△ 47,223
消耗什器備品費	160,600		160,600
消耗品費	2,961,245	3,052,993	△ 91,748
修繕費	0		0
印刷製本費	39,198,263	37,661,990	1,536,273
光熱水料費	0	0	0
賃借料	2,143,884	4,675,315	△ 2,531,431
諸謝金	16,165,974	12,902,214	3,263,760
租税公課	8,150	8,150	0
支払負担金	2,116,200	2,116,200	0
支払助成金	3,733,233	2,946,124	787,109
委託費	49,187,361	53,829,216	△ 4,641,855
雑費	2,188,436	2,190,436	△ 2,000
支払手数料	2,971,593	2,367,523	604,070
新聞図書費	97,452	115,950	△ 18,498
学術集会会場費	26,570,537	13,943,302	12,627,235
学術集会設営費	53,315,993	61,386,296	△ 8,070,303
学術集会人件費	22,772,413	18,030,990	4,741,423
学術集会業務委託費	10,943,167	12,655,007	△ 1,711,840
学術集会広告費	5,783,910	1,387,144	4,396,766
学術集会印刷費	367,040	320,887	46,153
学術集会会議費	13,375,188	10,702,776	2,672,412
学術集会諸費用	17,971,411	22,170,659	△ 4,199,248
学術集会 WEB 費用	5,156,250	2,059,117	3,097,133
管理費	85,917,517	78,640,699	7,276,818
給与手当	44,411,615	42,493,408	1,918,207
退職給付費用	3,299,880	2,891,700	408,180
福利厚生費	43,495	43,495	0
旅費交通費	1,027,349	1,017,460	9,889
通信運搬費	95,208	324,548	△ 229,340
消耗品費	13,734	179,331	△ 165,597
法定福利費	6,498,058	6,372,179	125,879
印刷製本費	80,700	817,470	△ 736,770
光熱水料費	686,081	618,962	67,119
賃借料	10,983,060	9,945,056	1,038,004
保険料	42,510	42,510	0
諸謝金	550,630	565,205	△ 14,575
租税公課	7,573,298	9,472,122	△ 1,898,824
支払助成金	332,000	900,000	△ 568,000

委託費	2,542,560	751,313	1,791,247
雑費	593,604	399,617	193,987
減価償却費	7,005,875	1,494,605	5,511,270
支払手数料	137,860	311,718	△ 173,858
経常費用計	392,379,923	367,936,115	24,443,808
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,002,079	2,244,023	△ 3,246,102
当期一般正味財産増減額	△ 1,002,079	2,244,023	△ 3,246,102

5. 日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞の公募について

2011 年（平成 23 年）に日本病理学会は創立 100 周年を迎えました。日本病理学会 100 周年記念事業実行委員会では、病理学の医学・医療における位置づけを再確認し、病理学会のあるべき姿と進むべき方向を、より多くの方々と語り合う機会として、創立 100 周年記念事業を行ってまいりました。さらに、これらの事業と東日本大震災への義援金に加えて、日本病理学会の発展に資するプロジェクトを募集し、2020 年までの 10 年間にわたって実施すること致しました。「日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞」は、「病理医・研究医の育成とリクルート委員会（旧・若手医師確保に関する委員会）」が応募し、採用された公募プロジェクトです。本プロジェクトは、その後、理事会にて継続が認められました。

本プロジェクトの概要：

将来的に日本の病理学がバランスよく発展していくためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も強力に推進する必要がある。ところが昨今の若手医師の研究指向者の激減は憂慮すべき問題である。この問題を少しでも解決するべく、2011 年から、病理学研究新人賞を設定し、若手医師の大学院生を鼓舞することとした。選考は書面による 1 次審査（8 名以内）と春期の病理学会総会時において口頭発表による 2 次審査を行い、今年度は 3 名を選出する。春期の日本病理学会総会で表彰し、賞金 10 万円を付与する。

下記の要領で候補者を公募します。

対象：

以下のすべての要件を満たす者を本賞応募の対象者とする。

- 1) 日本の大学の医学部・歯学部大学院病理学教室（あるいはそれに相当する教室）博士課程に所属する学生であること（年度内）。
- 2) 応募翌年度の 4 月 1 日において、36 才以下であること。（1 月 18 日〆切）（令和 7 年度対象者：平成元年 4 月 2 日以降生まれ）
- 3) 日本の医師免許あるいは歯科医師免許を有する者。ただし、日本の大学の MD/PhD コースの学生で博士課程に所属する者は応募可能とする。
- 4) 1 年間以上、日本病理学会の会員である者。
- 5) ただし、出産・育児休暇（休学を含む）を医学部・

歯学部入学以降に取っていた場合、大学・病院・指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる証明書（任意の形式）を提出することにより、同期間（最大 2 年間まで）の年齢制限の延長を認めることとする。

募集締切：令和 8 年 1 月 18 日（日）23:59 必着

提出書類：

*応募書類は以下を PDF 化した電子媒体（すべての書類をひとつのファイルとしてつなげたもの）にて提出していただくことになっております。

すべて A4 の大きさの PDF で提出のこと。

下記の書類を、順番にひとつの PDF ファイルにつなげてお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数の PDF 化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

- 1) 履歴書（高校卒業以降、生年月日・連絡先を含めること）
- 2) 業績録（著者名をすべて記載し、代表論文 3 編までに関して、要旨を含む第 1 ページのコピー 1 枚ずつを提出）
- 3) 本人自身の研究業績の要約（1 枚、必ずタイトルをつけること）
- 4) 所属講座の教授、あるいは指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）の推薦書（1 枚）
- 5) 大学院在籍証明書（コピー可、秋修了の方は修了証明書）
- 6) 医師免許証のコピー（MD/PhD コースの学生は不要）
- 7) 受賞した場合、受賞後 2 年以内に本学会学会誌 Pathology International へ投稿を行うという誓約書（形式自由；原著あるいは総説で共著可）。
- 8) 指導教官（ただし、日本病理学会学術評議員に限る）などによる出産・育児休暇（休学を含む）の証明書（任意の形式；該当者のみ）

※尚、受賞後、応募時提出内容に虚偽があることが判明した場合、後日審議の上、受賞の取り消しならびに賞金の返還を求めることがある。

提出先：日本病理学会事務局

(1) 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送り下さい。E-mail : jsp.office@pathology.or.jp
申請メールと応募書類の 2 つがそろって応募完了となりますのでご留意下さい。

① E-mail の件名として 「病理学研究新人賞応募申

請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。

- (2) ①. 送信予定日時 ②. 氏名 ③. 所属（教室名まで正式名称を）④. 研究業績の要約のタイトルを記載下さい。
- (2) 上記(1)の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの）をPDF電子媒体として下記のURLよりアップロードして下さい。

応募書類提出先：

<https://biz.datadeliver.net/posts/rookieaward2025>

- ① アップロードの際にコメント欄にお名前と会員番号を記入して下さい。
- ② ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
- ③ 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

選考予定：

1次審査の結果は、令和8年2月末日までにメールで連絡する。今年度の2次審査は、令和8年4月16日（木）午前に第115回日本病理学会総会（札幌）において実施する（発表10分、質疑5分の予定）。2次審査は公開とし、そのプログラムはウェブで公知する。なお、2次審査参加のための交通費・宿泊費ならびに総会参加費は各自の負担とする。

受賞者は1日目午後の表彰式に必ず出席すること。やむを得ず欠席する場合は、必ず代理を立てること

6. 第72回秋期特別総会[IAP国際学会と合同開催](福岡)のHP公開

会期：2026年10月8日（木）・9日（金）

会場：福岡国際会議場

会長：小田義直（九州大学）

<https://www.congre.co.jp/jsp72/>

7. 胃癌病理診断アップデート講習会:改定WHO分類・規約分類ポイント解説 開催のお知らせ

今年度末までにWHOブルーブック（消化器）と胃癌取り扱い規約の改訂版が発刊予定で、重要な改定内容も含まれています。執筆担当者を講師として、改定内容を中心に日常診断で知っておきたい知識のアップデートを行いますので、奮ってご参加ください。

テーマ：胃癌

会期：現地開催

2026年4月11日（土）12:40～16:30

※オンデマンド配信の視聴も可

Web開催

2026年4月20日（月）～5月15日（金）正午

※オンデマンド配信

会場：EBiS303 5F カンファレンススペースABC
(東京・恵比寿)

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-8
エビススバルビル 5F

<https://www.ebis303.com/info/access.html>

対象：日本病理学会 会員のみ

参加費：無料

資料：PDF提供 ※印刷はございません

形式：現地講義、質疑応答 / Web オンデマンド視聴

定員：現地開催 先着110名 /

Web開催（オンデマンド配信）制限なし

単位：

・受講後、確認テストとアンケートを提出後に「修了証」を授与いたします。単位付与はございません。

参加受付期間：2026年2月4日（水）正午～
2026年5月8日（金）正午

※現地参加の締め切りは4月10日（金）正午まで。

定員になり次第終了。

内容：

- ・前癌病変（WHO分類 adenoma/dysplasia の改定内容）
- ・胃癌（WHO分類と胃癌取扱い規約の改定ポイント）
- ・上皮内癌（pTis）と粘膜内浸潤癌（pTla）の鑑別ポイント
- ・腸型腺腫と胃型腺腫
- ・胃癌（特殊型・その他の亜型）
- ・神経内分泌腫瘍
- ・術前化学療法効果判定の意義
- ・胃癌バイオマーカー検査アップデート

※開催案内・プログラム詳細：

<https://www.pathology.or.jp/news/pdf/educational-grants.2025PG.pdf>

※フライヤー：

https://www.pathology.or.jp/news/pdf/educational_grants.2025flyer.pdf

世話人：牛久哲男（東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学）

運営事務局：株式会社学会サービス内

TEL：03-3496-6950 FAX：03-3496-2150

E-mail：support@gakkai.co.jp

主催：一般社団法人日本病理学会 / アステラス Educational Grants「教育助成」プログラム

参加登録方法・詳細は以下HPよりご確認ください。

講習会HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/members/seminar/educational-grants.2025.html>

8. コンサルテーションシステム移行に伴う一時休止のお知らせ

「日本病理学会・国立がん研究センター 病理診断コンサルテーションシステム」について、新システムへの移行に伴い一時休止となります。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

一時休止期間：2025年12月24日（水）9:00～
2026年1月5日（月）9:00

【お問い合わせ先】

日本病理学会・国立がん研究センター
病理診断コンサルテーション事務局
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
E-mail: pathconsult@ml.res.ncc.go.jp
TEL: 03-3547-5201（内線1702）

9. 第19回診断病理サマーフェスト

—病理と臨床の対話— 開催報告
p 14からp 16をご参照ください。

10. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

池田 高良 功労会員（令和7年3月9日ご逝去）
小野 巍 功労会員（令和7年11月14日ご逝去）
 笹野 信昭 名誉会員（令和7年11月18日ご逝去）
那須 拓馬 学術評議員（令和7年11月21日ご逝去）

第19回 診断病理サマーフェスト 一病理と臨床の対話一 開催報告

2025年12月8日

聖マリアンナ医科大学 病理学（診断病理） 堀井理絵
(第19回診断料理サマーフェスト司会人)

今年のサマーフェストは、乳腺をテーマにオンラインのハイブリットで開催されました。乳腺病理に関するサマーフェストは2014年以来11年ぶりとなりました。

オンラインは9月6日（土曜日）と7日（日曜日）に、東京 恵比寿のEVENT SPACE EBiS303にて行い、その内容を9月16日（火曜日）から10月10日（金曜日）にオンライン配信しました。オンライン開催前日の9月5日には台風15号が日本列島を横断し、新幹線が遅れ、一部の講師はその影響を受けました。しかし、開催当日は好天で、聴講者への影響は少なく、安堵しました。

参加者数は870名で、うち講師・委員・スタッフを含む現地参加者数は103名でした。参加者区分の内訳は、一般参加：655名（75.3%）、研修医（初期、後期両方を含む）・大学院生・臨床検査技師：193名（22.2%）、診断病理サマーフェスト委員・講師・スタッフ：22名（2.5%）でした。参加者のうち日本病理学会会員は698名（80.2%）で、非会員は172名（19.8%）でした。参加者は例年に比べてやや多く、その理由としては、今年の6月に乳癌取扱い規約が改訂されたため聴講希望者が多かったこと、日本病理学会に加え他学会の会員に広く周知したことなどが考えられます。

プログラムと担当講師の先生方は下記のとおりです。乳腺病理の形態診断、バイオマークー診断、遺伝子診断を包括し、かつ、それらの基礎から最先端までを含む充実した内容でした。臨床的には、画像診断と乳癌の治療（手術と薬物療法両方を含む）に関する講演を賜りました。遺伝子変異と組織形態の関連についての講演もたいへん興味深く、好評でした。質疑応答が多く、初日、二日目いずれも若干、終了時間が定刻を過ぎてしましましたが、途中で退席される方はほとんどおられませんでした。開催後には、たいへん勉強になったとの感想を複数頂きました。私自身も同感で、講師の先生方の深い知識と多数の経験に裏打ちされたお話を感銘を受けました。

ハンドアウトはたいへん厚く251ページに及びました。各項目は新しい乳癌取扱い規約に沿って、詳細に記載されています。サマーフェスト終了後も参考書として役立つ冊子となりました。

本サマーフェストの企画・運営については、博愛会相良病院 病理診断科の大井恭代先生に多くのご助言を頂きました。運営事務局は株式会社学会サービスの中本丈也様にご担当いただきました。大井恭代先生をはじめとする講師の先生方、ご参加の皆様、運営スタッフの皆様に心から感謝申し上げます。また、矢持淑子先生、鬼島宏先生をはじめとする

サマーフェス委員会の先生方には、乳腺病理をテーマに選んでいただき、準備段階から開催までたいへんお世話になりました。ありがとうございました。日本病理学会事務局の皆様、本会の成功にお力をお貸しくださった皆様にも深く御礼申し上げます。

【プログラム】

2025年9月6日（土）		
乳腺画像診断	聖路加国際病院 放射線科	角田博子先生
乳腺針生検の病理診断 Overview	博愛会相良病院 病理診断科	大井恭代先生
病理診断① 上皮・筋上皮性腫瘍	滋賀医科大学医学部附属病院 病理部	森谷鈴子先生
病理診断② 非浸潤性小葉腫瘍	倉敷成人病センター 病理診断科	大森昌子先生
病理診断③ 乳管内増殖性病変	静岡県立静岡がんセンター 病理診断科	片山彩香先生
病理診断④ 乳頭状病変	三重大学医学部附属病院 病理診断科	小塚祐司先生
病理診断⑤ 線維上皮性腫瘍	埼玉メディカルセンター 病理診断科	桂田由佳先生
病理診断⑥ 間葉系腫瘍・その他	大阪医療センター 臨床検査診断部・臨床検査科	森 清先生
第19版乳癌取扱い規約の改訂点	長崎大学病院 乳房センター／病理診断科・病理部	山口 優先生
浸潤性乳癌の病理診断 Overview	聖マリアンナ医科大学 病理学	堀井理絵
病理診断⑦ 浸潤性乳癌 特殊型	がん研究会がん研究所 病理部	大迫 智先生
2025年9月7日（日）		
バイオマーカー診断① ホルモン受容体・HER2	東邦大学医学部 病院病理学講座	本間尚子先生
バイオマーカー診断② PD-L1・Ki67	東京慈恵会医科大学 病理学講座・病院病理部	坂谷貴司先生
浸潤性乳癌の治療	京都大学大学院 医学研究科外科学講座乳腺外科学	増田慎三先生
遺伝性乳癌の臨床病理	聖路加国際病院 病理診断科	鹿股直樹先生
遺伝子診断と病理診断	がん研有明病院 乳房センター	上野貴之先生
浸潤性乳癌の分子病理診断	国立がん研究センター中央病院 病理診断科	吉田正行先生

